

SPIEGEL

2月号

2022. February.10/Vol.1

調査概要

<調査期間>

調査実施日：2022年1月24日～2022年1月31日

昨年同時期：2021年1月25日～2021年2月1日

Subjects

1 〈学生動向〉 P.2

- ・ インターンシップ平均参加率と平均社数
- ・ 面接平均参加率と参加社数

2 〈企業動向〉 P.4

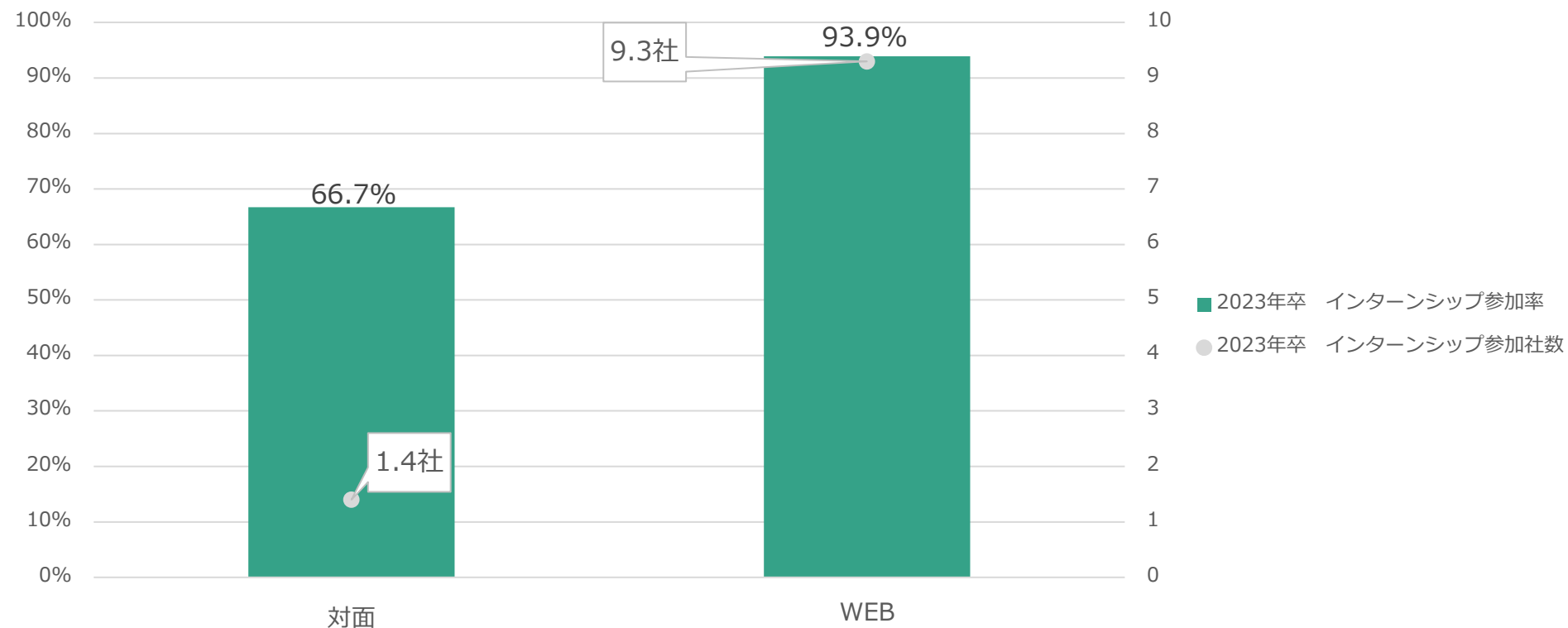
- ・ 2023年卒者の新卒採用の見通し（大学生・大学院生）
- ・ 業種別 2023年卒者の新卒採用の見通し（大学生・大学院生）
- ・ マイナビで告知されたインターンシップ開催企業数

3 〈学生アンケート〉 P.6

- ・ 現在登録している就職ナビを教えてください。
- ・ なぜそのナビをメインで使っていますか？
- ・ 2社以上が集まるインターンシップイベントには参加しましたか？
- ・ 就活のために、企業とLINEで繋がったことはありますか？
- ・ 就職ナビを見る際は、スマートフォンとPCのどちらをよく利用しますか？
- ・ 年末年始休暇中に就職活動はしましたか？
- ・ 「今風」な会社と聞くと、プラスのイメージを持ちますか？
マイナスのイメージを持ちますか？
- ・ どんな採用をしている企業だと、「今風」だなと感じますか？
- ・ 説明会で社員と会える場合、どの層の社員と会ってみたいですか？
- ・ インターンシップに応募するとき、
WEBと対面の両方で開催があった場合は、どちらに参加したいと思いますか？
- ・ インターンシップ参加後、実際に企業から受けたフォロー（案内）はどんなものがありましたか？
- ・ 就職活動中、企業への不信感を抱いたことはありますか？またそれは、どんな瞬間でしたか？

1. 学生動向

インターンシップ平均参加率と平均社数

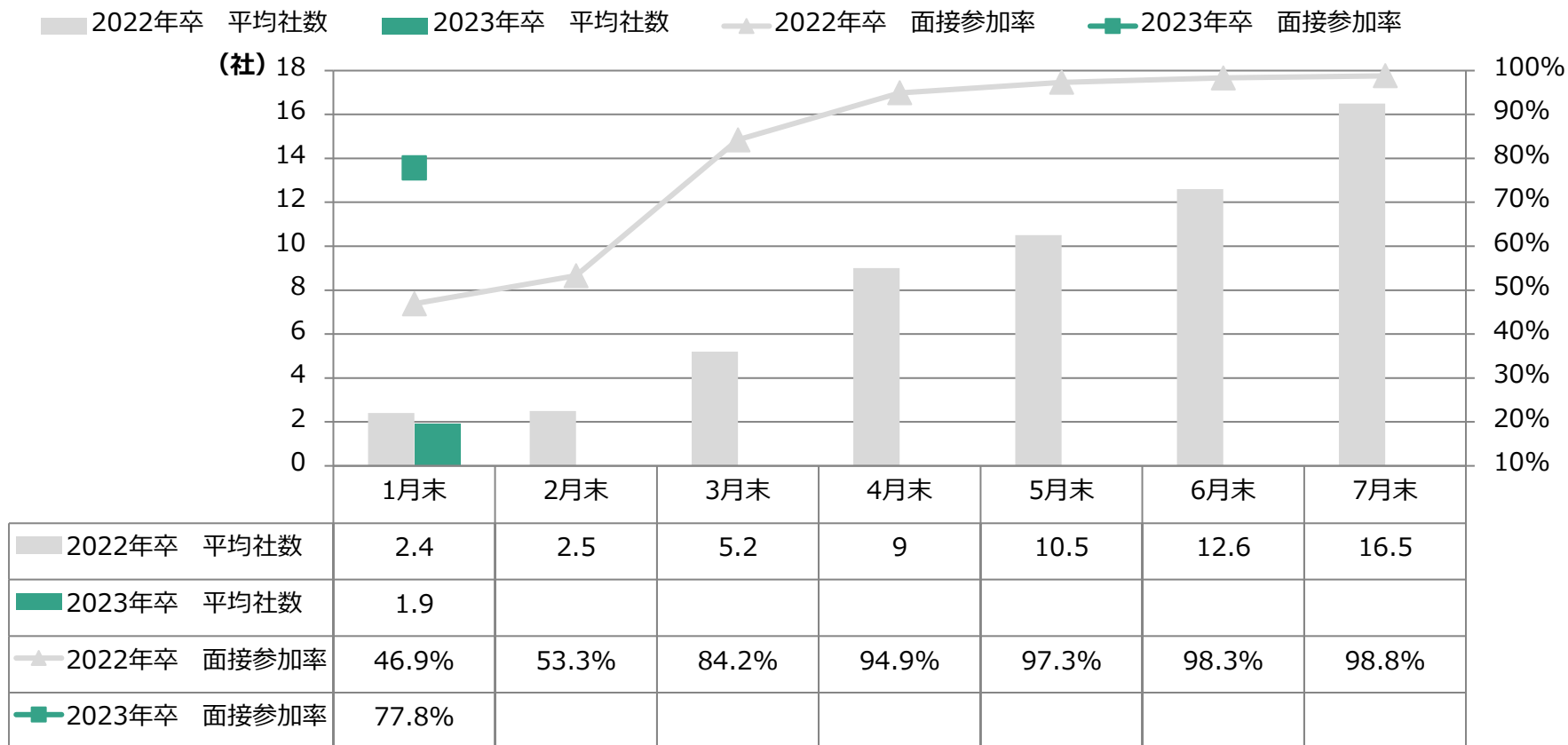


■ インターンシップ参加率、WEBと対面で差が

インターンシップの参加率はWEBが93.9%、対面が66.7%と27.2ポイントも差がある結果に。参加社数も、WEBの9.3社に対して対面は1.4社と、主流は完全にWEBとなっていることが窺えます。

1. 学生動向

面接平均参加率と参加社数

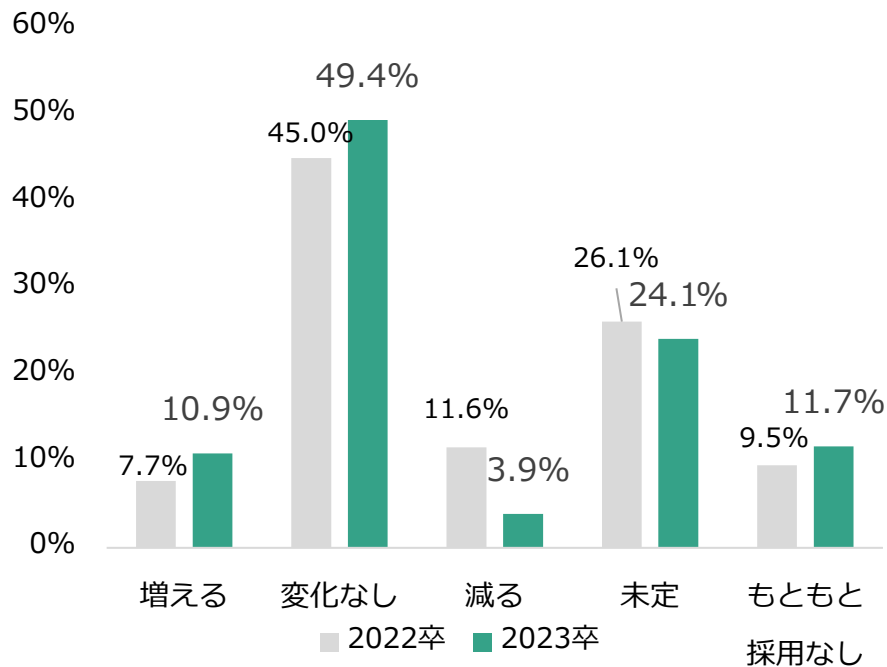


■ 77.8%が面接を経験済み

前年同時期と比較すると、平均参加社数は1.9社と0.5社減少していますが、面接率は77.8%と昨年の3月時点の参加率に迫る勢いで上昇しています。インターンシップに参加した企業から3月以前に選考案内がきたとしても、学生にとっては早すぎることはなく、むしろスタンダードなスケジュールだと捉えているのかもしれませんが。

2. 企業動向

2023年卒者の新卒採用の見通し (大学生・大学院生)



※出典：リクルートワークス研究所「ワークス採用見通し調査」より
※%を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合があります。

業種別 2023年卒者の新卒採用の見通し (大学生・大学院生)

業界分類	増える	変化なし	減る	未定	もともと採用なし
建設業	11.3%	52.7%	4.2%	20.6%	11.3%
製造業	12.9%	49.8%	3.3%	25.2%	8.8%
流通業	11.3%	54.2%	5.5%	20.1%	9.0%
金融業	7.2%	63.3%	5.5%	20.7%	3.4%
サービス情報業	9.7%	44.3%	3.5%	26.2%	16.3%

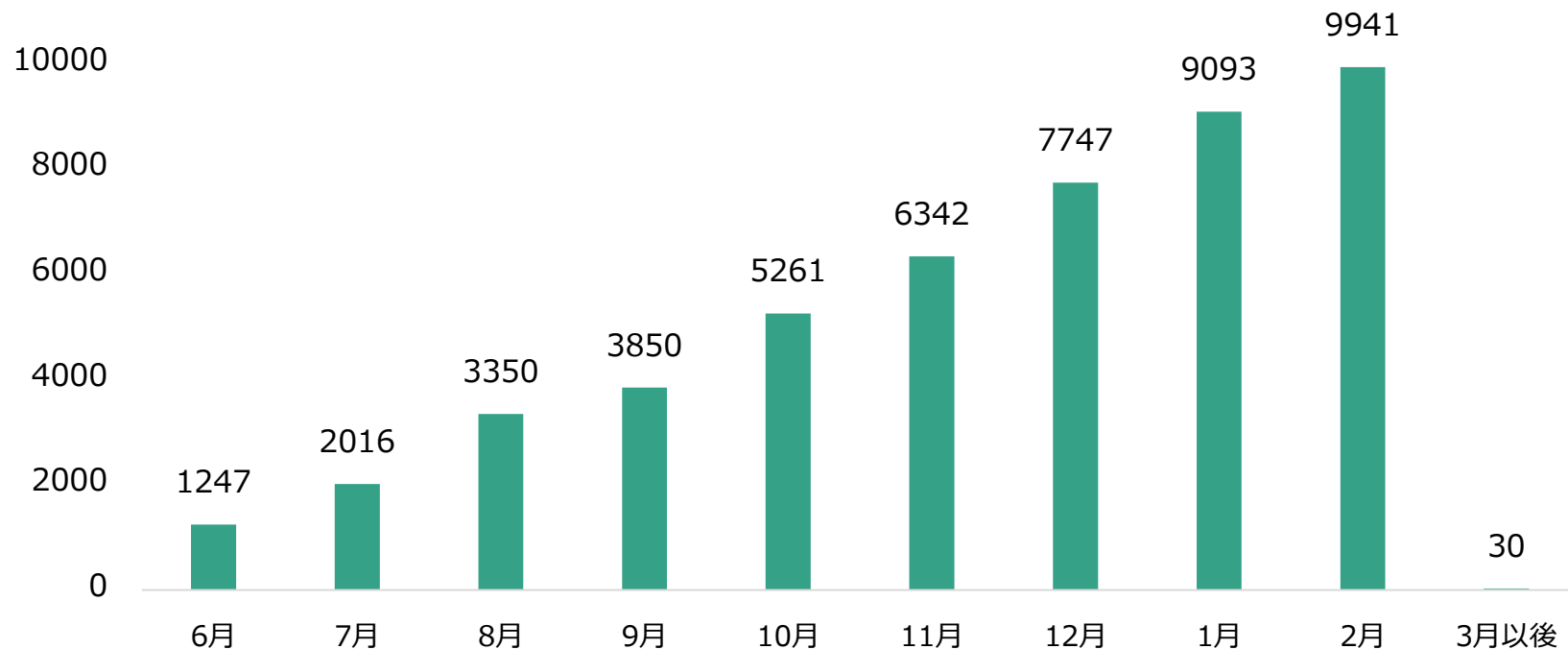
※出典：リクルートワークス研究所「ワークス採用見通し調査」より
※%を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合があります。

■ 2023卒の採用人数「増える」が「減る」を上回る

23卒採用における採用人数について、「増える」と回答した企業が全体で10.9%という結果になっています。また業種別に見ても、全業種において「増える」が「減る」を上回っており、企業の採用意欲は回復傾向にあると考えられます。23卒から採用を拡大する企業、また採用を再開する企業が増え、昨年よりも厳しい採用活動になりそうです。

2. 企業動向

マイナビで告知されたインターンシップ開催企業数

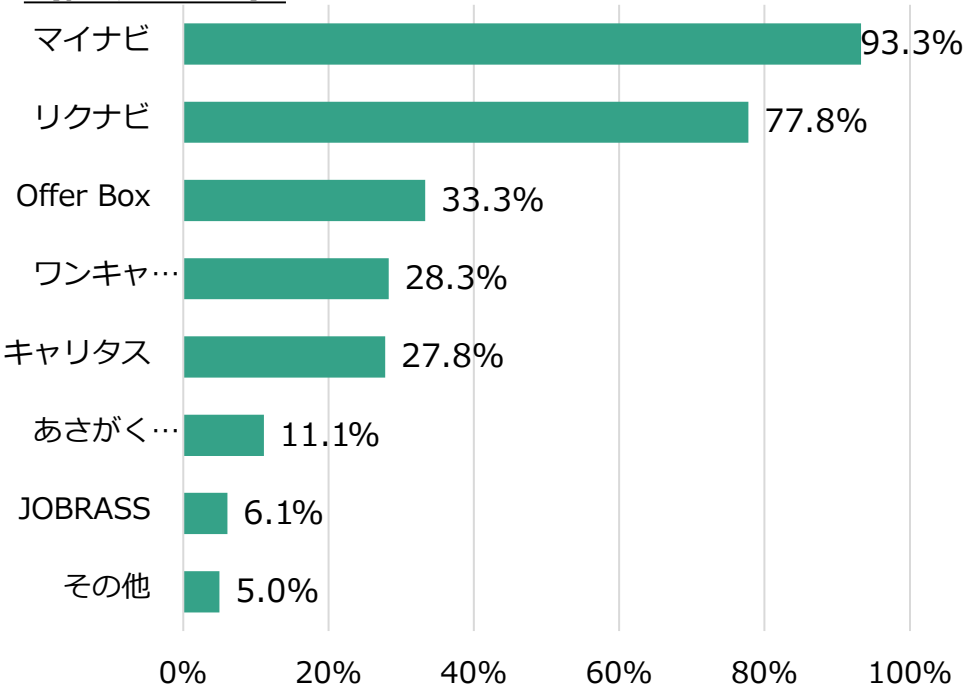


■ 2月のインターンシップ開催企業数は約1万社に

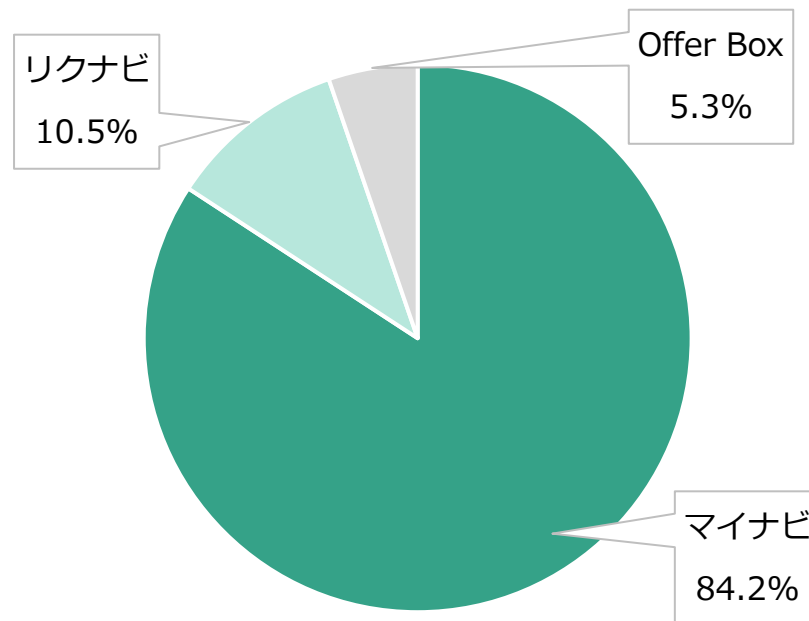
2月のインターンシップ開催企業数は9941社という結果になり、多くの企業の採用活動として取り入れられています。また、2月時点では6月の1247社と比較すると約8倍もの社数がインターンシップを実施しているため、ライバルの少ない早期から活動をはじめなどの工夫によって効果が変わってくると考えられます。

3. 学生アンケート

Q. 現在登録している就職ナビを教えてください。
(複数回答可)



Q. 最も利用頻度の高いナビを教えてください。

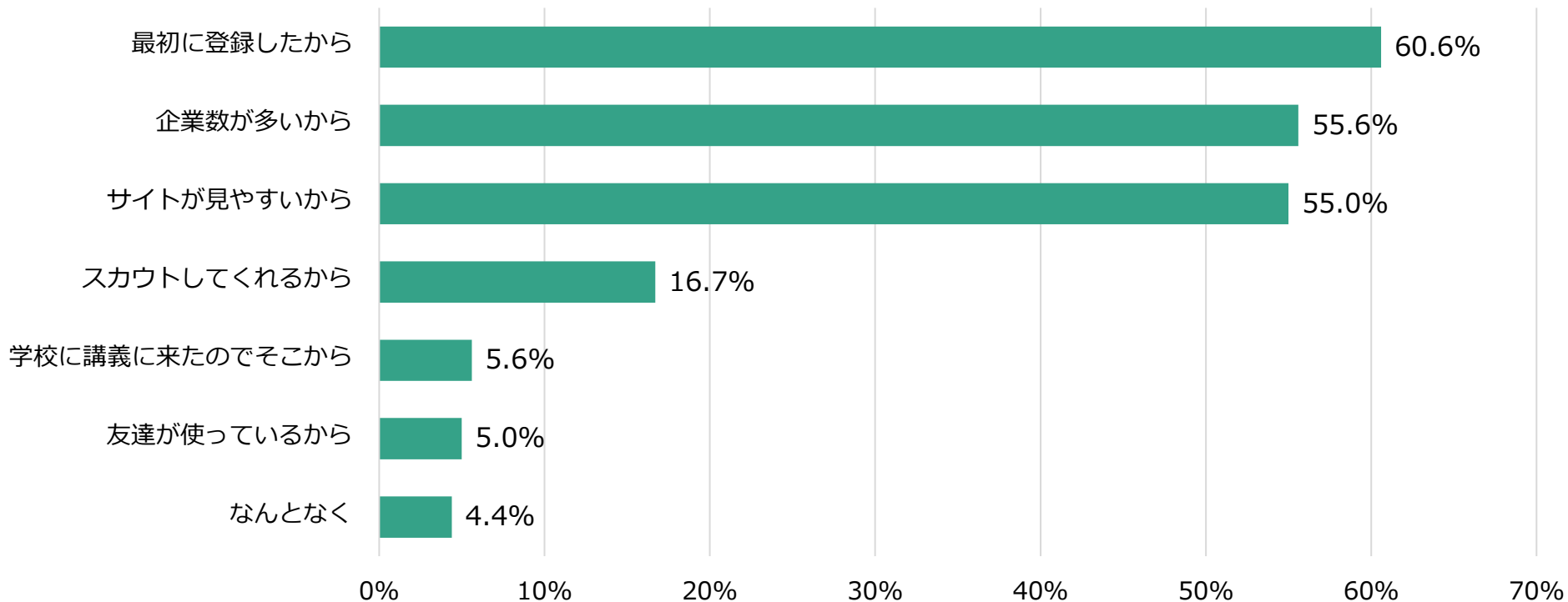


マイナビ・リクナビといった大手就職ナビサイトは、依然として圧倒的な登録率を誇っています。しかし、昨年同時期では49.4%も登録していたキャリアスを抑えて、スカウトサイトであるオファーボックスや企業の口コミ情報が読めるワンキャリアが上位にくるなど、変動が見られます。

また利用頻度で見ると、マイナビへの一極集中が顕著で、オファーボックスとリクナビの差はわずか5.2ポイント。自ら企業を探しながらも、「企業に見つけてもらう就職活動」を実施している学生も増えてきているようです。

3. 学生アンケート

Q. なぜそのナビをメインで使っていますか？（複数回答可）

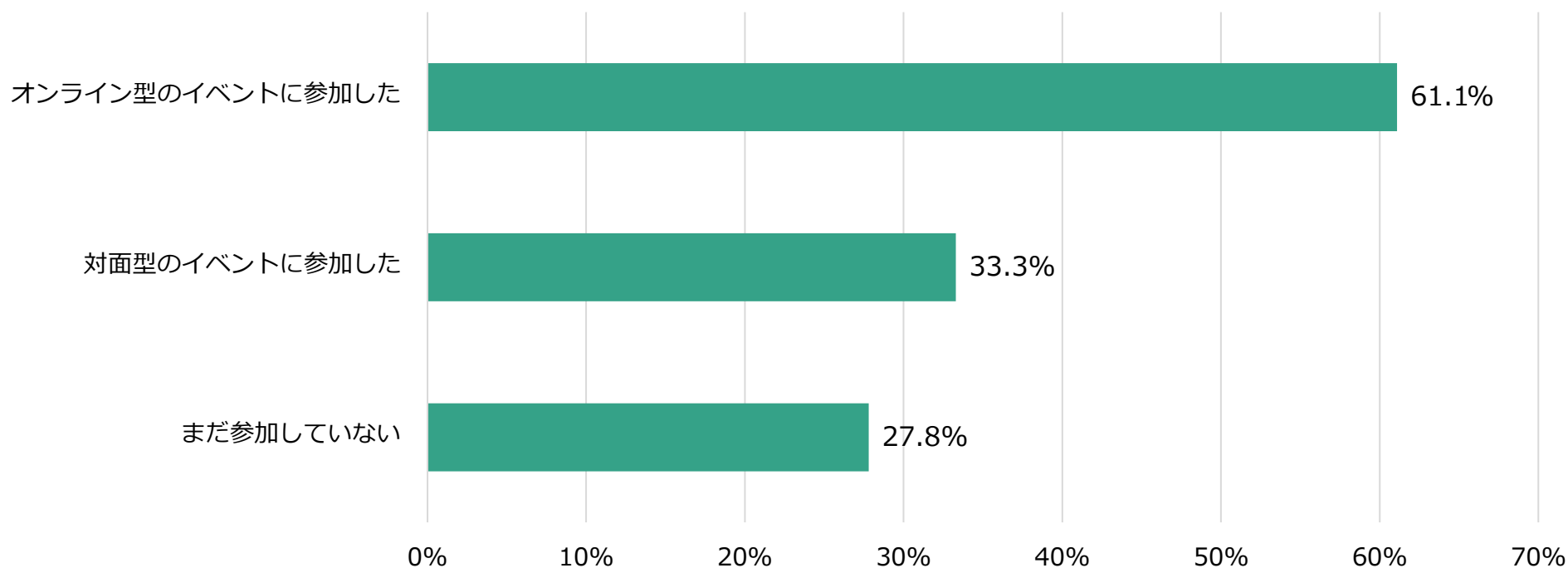


「登録した時期」「掲載企業数」「サイトの見やすさ」の3点が、利用頻度に影響していることが窺えます。

マイナビは学生画面を大幅にリニューアルしたことで、写真点数が増加し、SNSに近いデザインとなったことから、多くの就活生の支持を得ているのかもしれません。

3. 学生アンケート

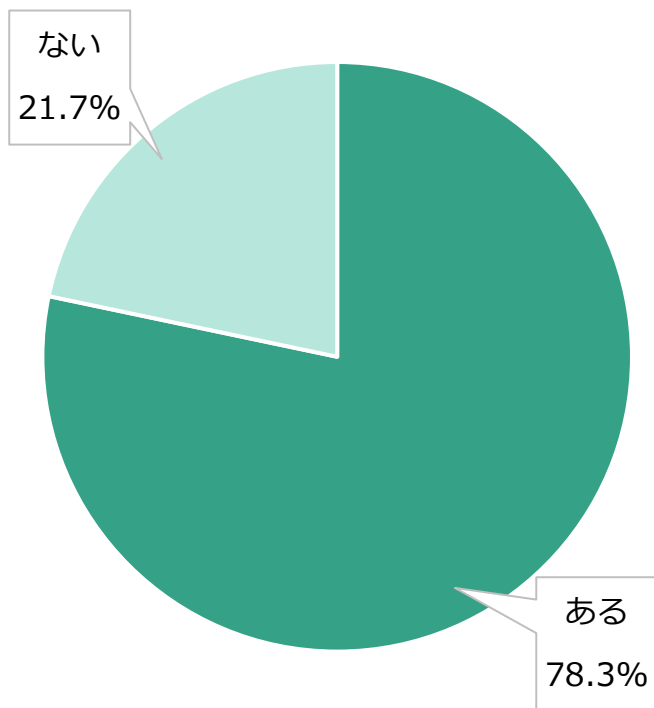
Q. 2社以上が集まるインターンシップイベントには参加しましたか？（複数回答可）



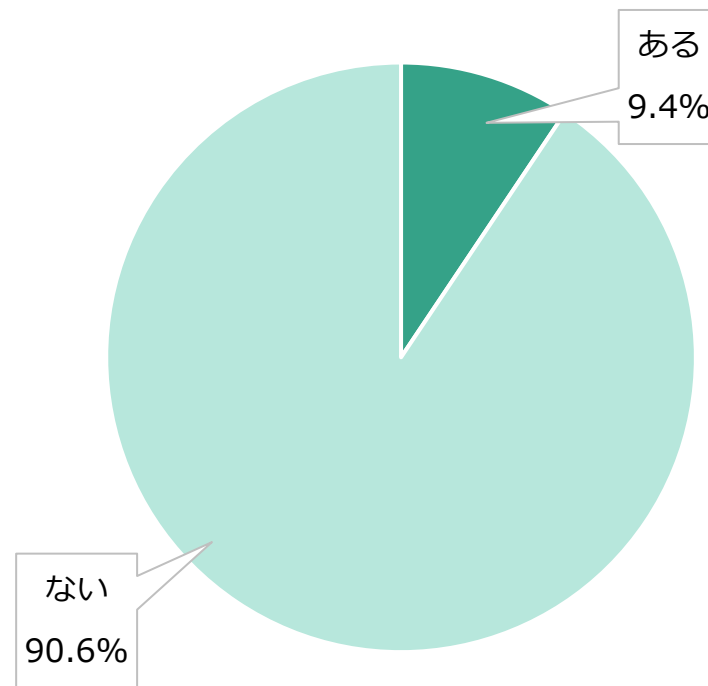
オンライン型イベントの参加率が61.1%と、対面型と大きく差をつけています。また、イベントに参加したことがないと回答したのは27.8%と少数派です。オンラインが主流になったことで、会場までの移動の手間や交通費を気にする必要がなくなり、参加ハードルが下がっているのかもしれませんが。

3. 学生アンケート

Q. 就活のために、
企業とLINEで繋がったことはありますか？



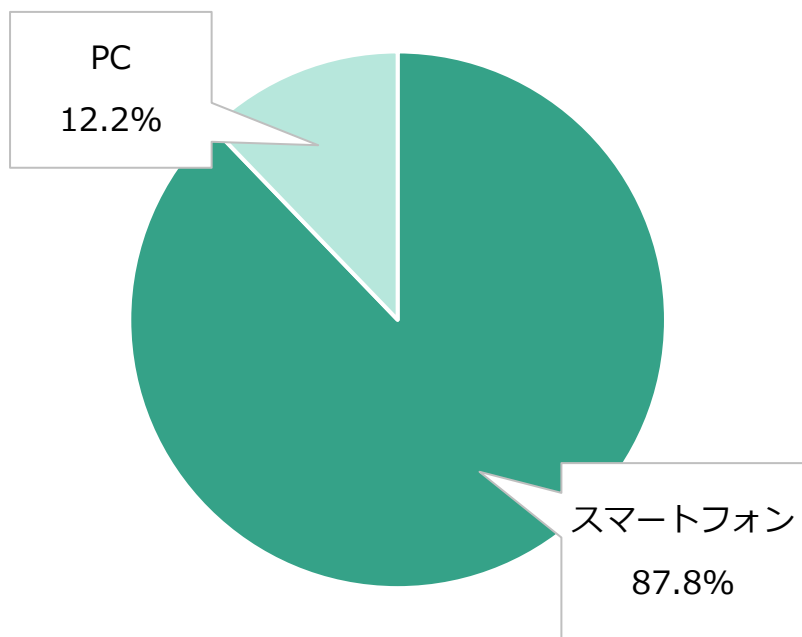
Q. 完全にSNS (Instagram/TikTok/LINE) の広告
のみでインターンシップに参加した企業はありますか？



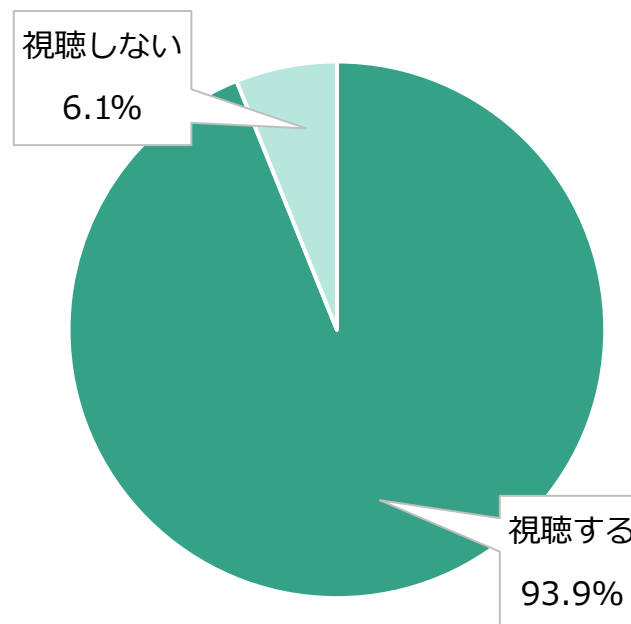
78.3%もの学生が、すでに一度は企業とLINEで繋がったことがあると回答しました。数年前から調査をしていますが、ポイントは年々上昇しています。一方で、「完全にSNSの広告のみでインターンシップに参加」したことがある学生はわずか9.4%で、まだまだハードルが高いようです。しかし、就職活動でのLINE利用がここ数年で浸透してきたことを踏まえると、数年後にはSNS広告での集客が活発になっている可能性もあります。

3. 学生アンケート

Q. 就職ナビを見る際は、スマートフォンとPCのどちらをよく利用しますか？



Q. インターンシップや説明会に参加する企業が、事前に企業情報がわかる動画を公開していれば、視聴しますか？



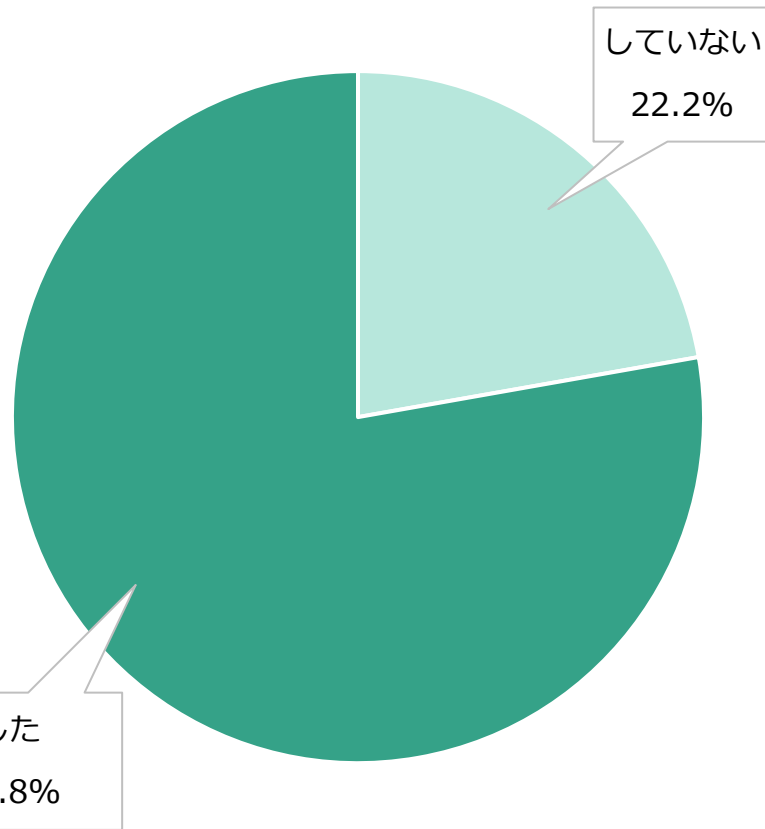
ナビサイトの閲覧媒体については、スマートフォンが87.8%、PCが12.2%となっています。昨年同時期はスマートフォンが62.5%、PCが37.5%と、PCの閲覧率が例年より上昇していましたが、23卒は再びスマートフォンの使用率が高まっています。

また企業動画については、93.9%の学生が視聴すると回答しています。自由閲覧ではなく、事前にメールやメッセージなどで送付しておくほうがより効果的です。

3. 学生アンケート

Q. 年末年始休暇中に就職活動はしましたか？

年末年始に就職活動をしていた方は、どのような活動を行ったのか教えてください。



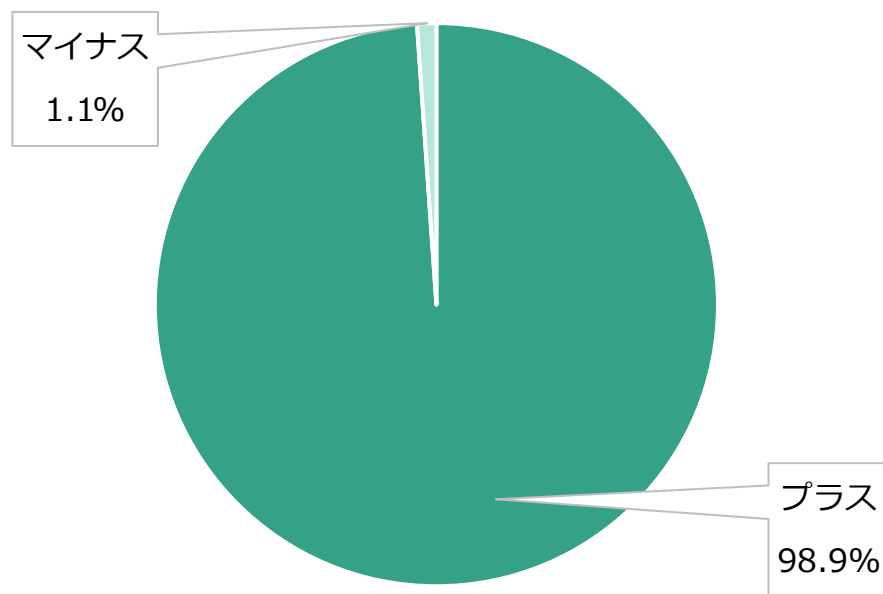
- ・ WEB型のインターンシップに参加した。
- ・ 視野を広げるため、エントリーしたい企業を探していた。
- ・ ナビサイトで企業にエントリーをした。
- ・ 早期選考用のエントリーシートを作成したり、添削してもらったりした。
- ・ 自己分析や企業研究を実施した。

年末年始休暇中でも、77.8%の学生は就職活動を行っていたようです。

「インターンシップへの参加」と、「ナビサイトを通しての企業へのエントリー行動」が最も多く見受けられました。また、自己分析や企業研究といった自己学習は、帰省中でも支障なく実施できるため、取り組んでいる学生が多いようです。

3. 学生アンケート

Q. 「今風」な会社と聞くと、プラスのイメージを持ちますか？ マイナスのイメージを持ちますか？



98.9%の学生が、プラスのイメージを持つと回答しました。

学生受けが良いからと無理に「今風」な会社を演じる必要はないかと思いますが、自社の制度や採用手法が、思わぬところで学生に評価されている可能性もあります。次の項目で、具体的にどのような企業を「今風」だと感じるのか質問してみました。

3. 学生アンケート

Q. どんな採用をしている企業だと、「今風」だと感じますか？

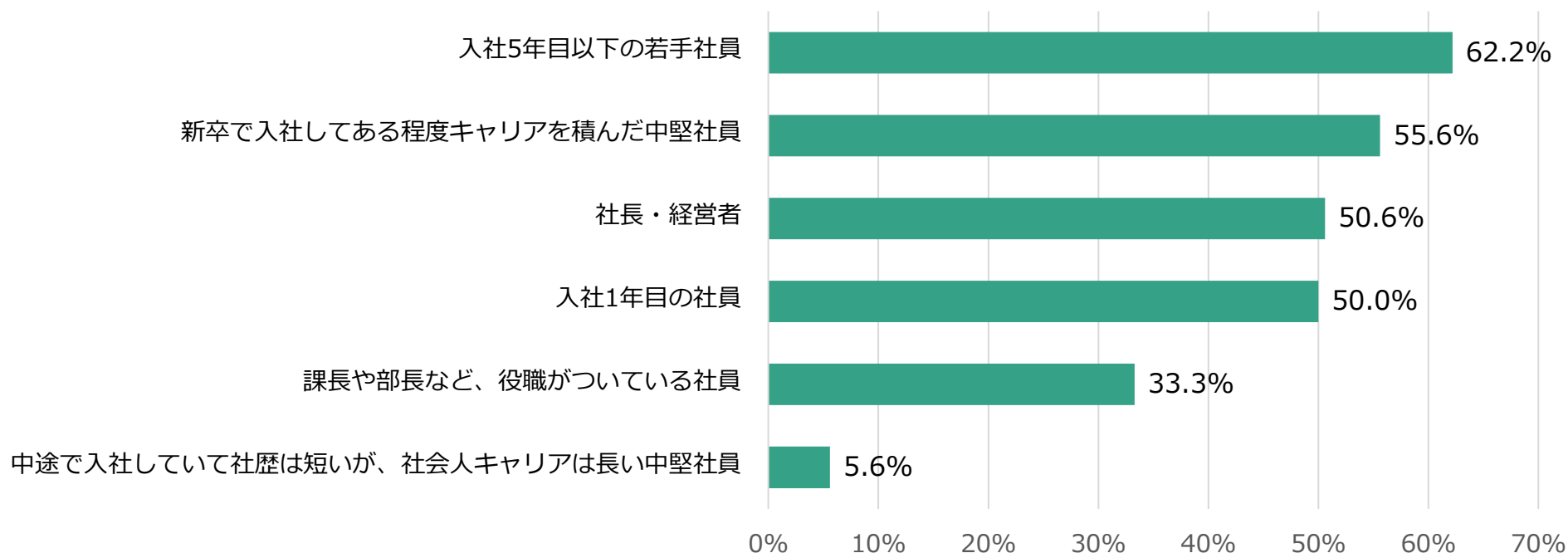
- ・ SNSを使用していたり、LINEでやりとりできる企業。
- ・ 多種多様な人材を採用している企業。
- ・ 学生の性格面など、人物重視で人を採用している。
- ・ 働き方改革に積極的である。
(フリーアドレス、フレックスタイム制、在宅勤務など)
- ・ 通年採用や、完全オンライン型の採用フローをとっている。
- ・ 履歴書を手書きではなく入力で作成できたり、WEBでのエントリーシートを導入しているところ。
- ・ AIを使った面接を実施している。
- ・ WEB説明会と対面型の両方で採用活動を実施している。
- ・ 面談のようなフランクな面接を行っている企業。
- ・ 社員の男女比率が5対5とバランスの良い企業。
- ・ 高い収入を売りにしていたり、インターンシップに参加した優秀な人材を好待遇で入社させたりしている。

一次、二次、三次とほかの応募者と横並びで進んでいく格式ばったフローではなく、通年採用やインターンシップからの引き抜きなど、応募学生に合わせた採用をしている企業だと、「今風」だと感じてもらえるようです。また採用基準についても、学歴・国籍・性別に左右されず、個人の能力や性格を重視する企業も好印象のようです。

ちなみに書類選考を実施する企業は、明確な意図がないのであれば、学校指定の履歴書を指定するなどは避けたほうが得策です。オンライン授業が主流となっている23卒からすると、わざわざ履歴書を購入するためだけに大学へ行く、ということになりかねません。

3. 学生アンケート

Q. 説明会で社員と会える場合、どの層の社員と会ってみたいですか？（複数回答可）

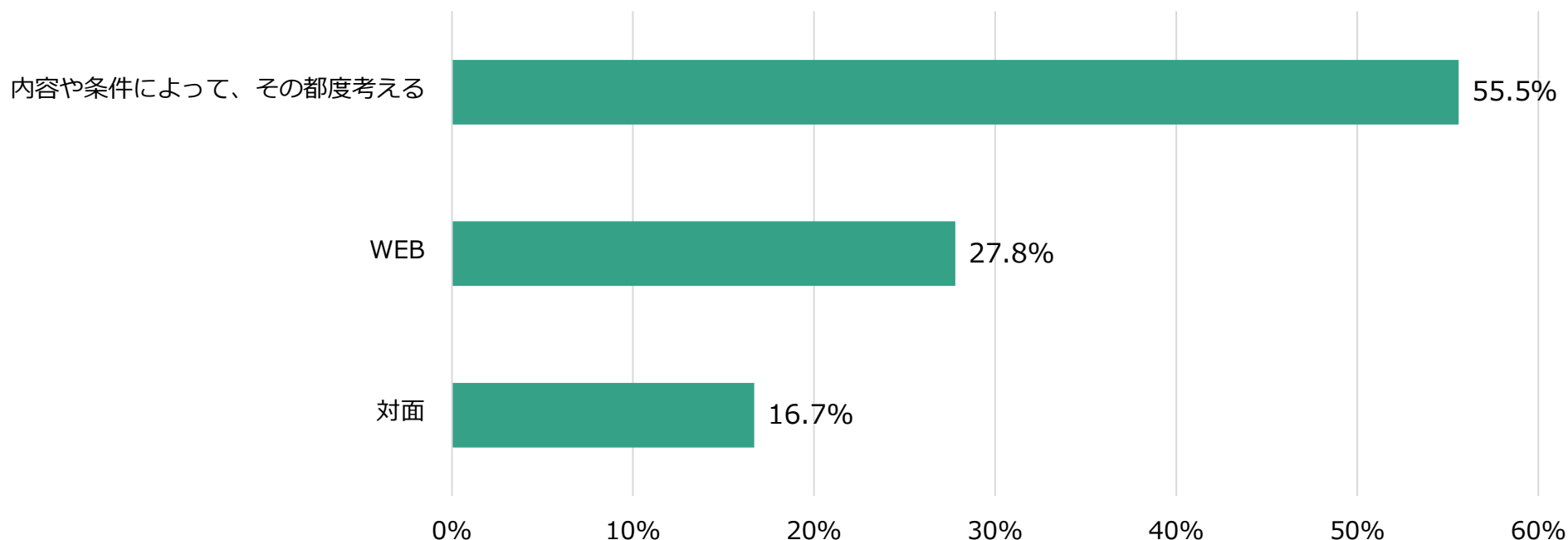


入社5年目以下の若手が最も支持を集めました。また、あえて課長や部長といった役職者にこだわらずとも、ある程度のキャリアを積んでいる中堅社員であれば、学生は満足してくれるようです。

社長・経営者と入社1年目の社員がほぼ同率で肩を並べていますが、会社説明会と一緒に登場いただいて、「企業のトップが感じる魅力と、新米が感じる魅力」を語っていただくなど、他社と差別化するような手法をとっても面白いのではないのでしょうか。

3. 学生アンケート

Q. インターンシップに応募するとき、WEBと対面の両方で開催があった場合は、どちらに参加したいと思いますか？（複数回答可）

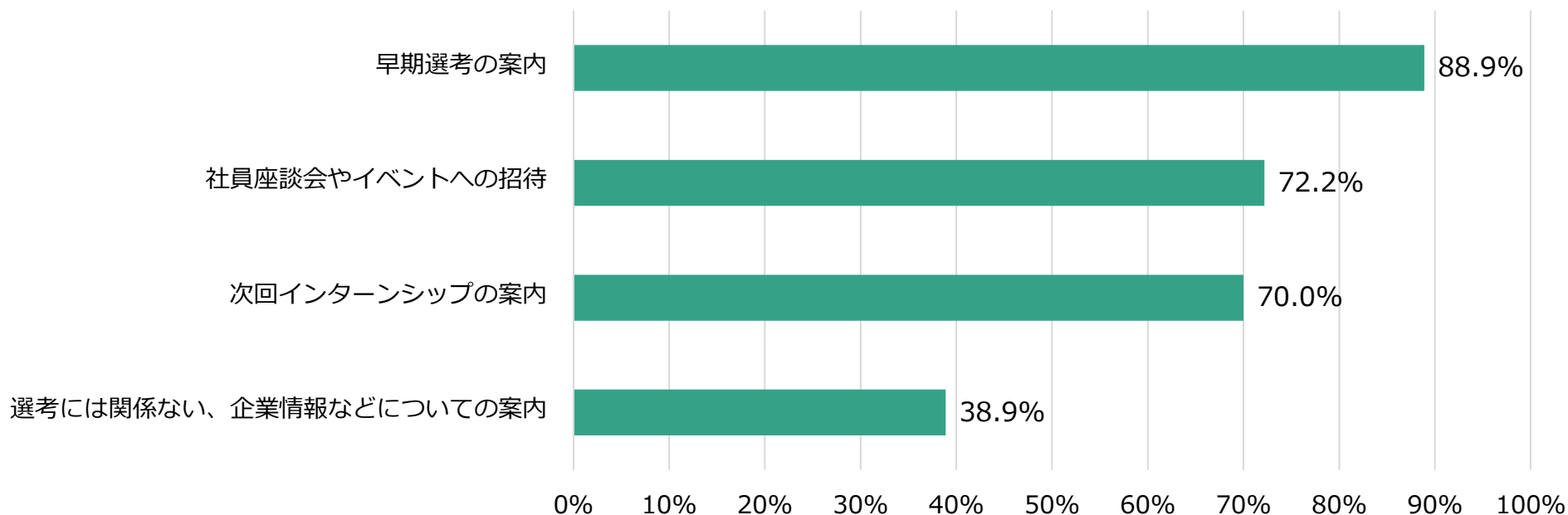


参加形式へのこだわりというよりは、「内容や条件によって、その都度考える」という考えをもった学生が多いようです。その一方で、「選べるならばWEBがいい」と感じる学生のほうが、対面派よりも11.1ポイント高くなっています。

WEB・対面の両方で開催する場合は、予約が分散する可能性があるため、「このインターンシップは、WEB（あるいは対面）でのご参加をお勧めします」など、企業側から一言添えて告知してもよいかもしれません。

3. 学生アンケート

Q. インターンシップ参加後、実際に企業から受けたフォロー（案内）はどんなものがありましたか？
(複数回答可)



早期選考の案内が88.9%と、企業側のフォローとしては最も主流となっています。一方的な情報配信というよりも、座談会やイベント・次回のインターンシップの案内など、やはり直接学生と接点をもつための機会を取り入れようとしていることが窺えます。

ちなみにグラフには反映していませんが、「インターンシップ参加後にフォローが一切なかった（参加のみだった）」と回答した学生は0名でした。

3. 学生アンケート

Q. 就職活動中、企業への不信感を抱いたことはありますか？ またそれは、どんな瞬間でしたか？

- ・ 学生の質問に対して、回答が合っていないと感じたとき。
- ・ 質疑応答の際、送られてきたチャットの中で不都合な質問は避けているように感じたとき。
- ・ オンライン説明会で、一方的に学生が話を聞くだけの状態でも、参加者全員が音声をオンにしなければならなかったとき。
- ・ 在宅勤務の社員の方が、ダラダラと一方的に喋るだけの会社説明会に参加したとき。
- ・ 就職活動サイトや企業の採用HPなど、媒体によって募集条件などの内容が異なっているとき。
- ・ 人事の方の態度が横暴であったとき。
(他の人が話している時に人事の人が携帯を触っていた、など)
- ・ 不祥事があった際に、連絡がなかったとき。
- ・ 説明会中に、社長が社員に向かってスライドについて訂正の指示をしていたとき。
- ・ 結果を出すなら残業は当たり前で、残業代はなしという説明を聞いたとき。
- ・ 残業時間を曖昧にしているように感じたとき。
- ・ 学生への配慮がないと思ったとき。
(採用担当者が、他の人の前で個人情報を発表させようとする、など)
- ・ 合同企業説明会に参加してエントリーはしていない企業から、電話がかかってきたとき。

人事や現場社員の方の対応に、意見が集中しました。とくにWEBインターンシップや説明会での対応は、学生の志望度に大きく影響を及ぼしそうです。学生側のカメラ・マイクの使用については、事前に必要・不必要を連絡しておくほうがよいでしょう。また質疑応答時の対応については、ある程度受け答えをマニュアル化しておくなど、対策がとれそうです。